

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成19年7月12日(2007.7.12)

【公表番号】特表2006-526644(P2006-526644A)

【公表日】平成18年11月24日(2006.11.24)

【年通号数】公開・登録公報2006-046

【出願番号】特願2006-515006(P2006-515006)

【国際特許分類】

A 6 1 K 45/06 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 K 31/395 (2006.01)

A 6 1 K 31/5377 (2006.01)

A 6 1 K 31/167 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 45/06

A 6 1 P 35/00

A 6 1 K 31/395

A 6 1 K 31/5377

A 6 1 K 31/167

【手続補正書】

【提出日】平成19年5月23日(2007.5.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

HSP90インヒビター及び酵素インヒビターを組み合わせたことを特徴とする乳癌治療用医薬組成物。

【請求項2】

HSP90インヒビターを酵素インヒビターの後に投与する、請求項1に記載の医薬組成物。

【請求項3】

HSP90インヒビターがゲルダナマシシン又はゲルダナマイシン誘導体である、請求項2に記載の医薬組成物。

【請求項4】

HSP90インヒビターがゲルダナマイシン誘導体であり、その誘導体が17-AAGである、請求項3に記載の医薬組成物。

【請求項5】

酵素インヒビターがSAHA又はイレッサである、請求項4に記載の医薬組成物。

【請求項6】

HSP90インヒビター及び酵素インヒビターを組み合わせたことを特徴とする結腸直腸癌治療用医薬組成物。

【請求項7】

HSP90インヒビターを酵素インヒビターの後に投与する、請求項6に記載の医薬組成物。

【請求項8】

HSP90インヒビターがゲルダナマイシン誘導体であり、その誘導体が17-AAGである、請求項7に記載の医薬組成物。

【請求項 9】

酵素インヒビターがイレッサである、請求項8に記載の医薬組成物。

【請求項 10】

酵素インヒビターがヒストン脱アセチラーゼインヒビターである、請求項1に記載の医薬組成物。

【請求項 11】

酵素インヒビターがチロシンキナーゼヒンヒビターである、請求項1に記載の医薬組成物。

【請求項 12】

酵素インヒビターがチロシンキナーゼインヒビターである、請求項6に記載の医薬組成物。

【請求項 13】

HSP90インヒビターが17-AAGであり、17-AAG及び酵素インヒビターの投与を週に1回行う、請求項1に記載の医薬組成物。

【請求項 14】

HSP90インヒビターが17-AAGであり、17-AAG及び酵素インヒビターの投与を週に2回行う、請求項1に記載の医薬組成物。

【請求項 15】

HSP90インヒビターが17-AAGであり、17-AAG及び酵素インヒビターの投与を週に1回行う、請求項6に記載の医薬組成物。

【請求項 16】

HSP90インヒビターが17-AAGであり、17-AAG及び酵素インヒビターの投与を週に2回行う、請求項6に記載の医薬組成物。

【請求項 17】

17-AAGの治療量が $50\text{mg}/\text{m}^2 \sim 450\text{mg}/\text{m}^2$ である、請求項13に記載の医薬組成物。

【請求項 18】

17-AAGの治療量が $50\text{mg}/\text{m}^2 \sim 250\text{mg}/\text{m}^2$ である、請求項14に記載の医薬組成物。